

しんろ	
医療と介護がめざす将来像	医療法人むつき会 理事長 佐久間 源三郎 2
企業訪問	
社会福祉法人 こころん ～「食」と「農」を柱に、障がい者と地域の共生を目指して～	4
調 査	
「温泉」「旅館」の魅力を活かした観光誘客	9
福島経済マンスリー	
6月の県内経済は、一部に弱い動きがみられ、 全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。	24
福島県の取り組み・施策シリーズ	
防災意識の高揚のための取り組みと管轄を越えた消防活動	32 福島県 危機管理課
信達の歴史シリーズII	
第6回 奥州街道と摺上川	35 福島県史学会 役員 阿部 俊夫
私の研究	
福島県における木材利用の意義 ～木材利用の現状と木育の実践～	39 郡山女子大学 家政学部 人間生活学科 准教授 阿部 恵利子
企業法務セミナー	
民法（債権法）改正の要点 ⑥	渡辺健寿法律事務所 弁護士 渡辺 健寿 43
税務・財務・会計相談 Q&A	
中小企業経営者が押さえておきたい 事業承継税制・M&A税制・組織再編税制- I	46 村上敬子税理士事務所 税理士 村上 敬子
地方経済天気図	52
県内復興・経済日誌（2018年7月）	53
主要経済指標	55
お知らせ	
「定期講演会」のご案内	60



<今月号の表紙：勿来の関公園（いわき市勿来町）>

「吹く風をなこそその関と思へども道もせにちる山桜かな」

平安時代の武将で「八幡太郎」の名で知られる源義家がこう詠んだ勿来関は、白河関、念珠関（山形県鶴岡市）とともに「奥州三関」と呼ばれ、歌枕の地として全国的に知られています。関址を示す石碑の近隣一帯は公園として整備され、桜の名所としても有名です。公園内を通る石畳の「詩歌の小径」には、義家の他にも小野小町、和泉式部、松尾芭蕉などの歌碑・句碑が並び、ここを散策するとまるでタイムスリップしたかのよう。今は初秋ですが、義家が「山桜の花を吹きちらす風よ、来る勿れ」と詠んだ心情と往時のゆく春の風景に、つい思いを巡らせてしまいそうです。